

## 2023 年度光産業技術標準化会 総会



会場風景

2023 年度光産業技術標準化会 総会が、2023 年 6 月 6 日（火）、御茶ノ水トライエッジカンファレンスにて、55 名の参加者の下、昨年度に引き続き対面で開催された。



光産業技術振興協会 小谷泰久



経財産業省 武重竜男 課長



東芝 佐田豊 執行役常務

開会に先立つ光産業技術振興協会 副理事長兼専務理事 小谷泰久の主催者挨拶の後、来賓講演として経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課長 武重竜男氏より、「経済産業省における標準化政策の動向」と題した講演をしていただいた。

武重課長の講演では、市場創出・獲得に向けた標準化活動として、「日本型標準加速化モデル」について説明をしていただいた。講演の概要は以下の通りである。

「このモデルは、基盤的活動に加え、戦略的活動をすること、すなわち、企業の経営戦略と一体的に展開する標準化活動のモデルである。これを認識し、実践していくことが、今後の標準化活動のあるべき姿になる。数々の課題もあり、人材の育成・確保についても、そのうちの 1 つである。標準化によって、我が国にもたらされる果実は大きく、ただルールに従うのではなくルールメイカーへと変貌すべきであり、明るい将来を見通した大胆な投資が必要である。そのためにも標準化活動の加速化を通じ、次々と課題を解決していくことを目指していくべきである。」

続いて総会の議事が行われた。議長として、株式会社東芝 執行役常務 佐田豊氏が選出され、2022 年度光産業技術標準化会事業報告および 2023 年度事業計画の審議が行われ、すべて異議なく承認された。



岡村 治男 氏

次に、株式会社グローバルプラン 代表取締役社長 岡村治男氏より「グローバル人材の素養」と題した特別講演をしていただいた。

講演の前半では、国による価値観の違いなど、いろいろな視点から、日本と世界各国の比較が説明された。講演の後半では岡村氏のグローバル活動として、情報格差の解消を目的とした DIY 敷設光ケーブルについて標準化活動の実践が述べられた。最後は、下記のようなメッセージで締めくくられた。

「日本人は、長い平和を享受するなかで、『協調・全体最適・人間尊重』の価値観と実現のノウハウを紡いできた。これらは世界の宝である。しかしながら、我々は、戦後、『競争・部分最適・経済至上主義』の光と影を体験し、多くを失い、多くを学んだ。『グローバル化』、『ニューノーマル』、『人生 100 年』の時代に、日本の標準化活動として、専門屋に留まらず、日本の価値を理解し、世界に眼を向け、高い目標をもち、世界の持続可能性に貢献すべきである。」

講演は、非常に有意義な内容であり、大きな拍手とともに 2023 年度光産業技術標準化会 総会のすべてのプログラムを終了した。